



# 高山セミナー 高山における町家住宅の耐震診断方法を学ぶ〈実践編〉

芸術文化振興基金助成金事業 平成23年8月27日(土)～8月28日(日)

NPO法人伝統木構造の会  
伝統木構造の会 東海事務局  
後援：国土交通省、文化庁、高山市（以上依頼中）

このセミナーは、今年4月の金沢セミナーに続く、伝統木造の耐震診断・耐震性能評価に関する第二弾の企画で、27日午後には東海事務局の発表、構造物家・研究者・実務家によるシンポジウム、そして地方からの発表を、翌28日には増田会長の講演と吉島家住宅をはじめ飛騨の伝統木造建物の見学会を開催します。

4月の「金沢における歴史的建造物の耐震性能評価に学ぶセミナー」では90名近いご参加をいただきましたが、その講師で、国の「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会の委員でもある後藤正美先生にも再度ご登壇いただきます。

第三弾の鎌倉セミナーにも繋がるセミナーですので、第一弾へのご参加をお見送られた方も含め、是非、皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 高山セミナー日程

[会場] 飛騨高山まちの博物館（旧高山郷土館）

1日目・8月27日（土）

10:30 総会・高山セミナー受付開始

11:00 ～12:00 総会

12:00 高山セミナー受付開始

13:00 セミナー

「高山における町家住宅の耐震診断方法を学ぶ」  
講師：後藤正美 金沢工業大学教授

14:30 地方耐震診断実例の発表

実例1（愛知県）石川茂和氏  
（有）石川建築設計工房  
実例2（熊本県）古川 保氏  
すまい塾古川設計室（有）

15:00 休憩（10分間）

15:10 シンポジウム

「これからの伝統木造の耐震診断と耐震  
改修について」  
パネリスト：吉島忠男（吉島家住宅当主）  
八野 明（棟梁）  
古川 保（建築家）  
増田一眞（本会会長）

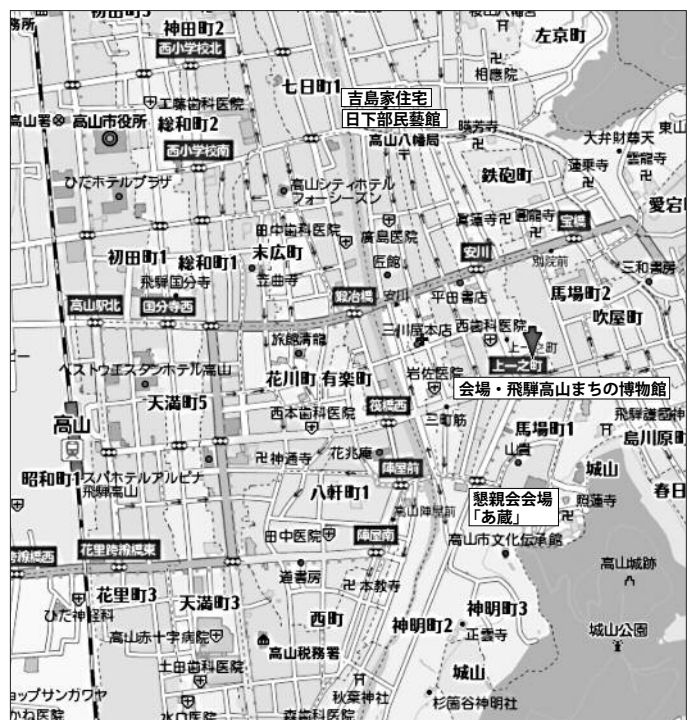
司 会：後藤正美（金沢工業大学教授）

17:10 終了・解散

19:00 懇親会（会場：「あ蔵」）

高山市神明町4-7

電話0577-37-2666



2日目・8月28日（日）

9:00 受付開始

9:30 講演（増田一真本体会長）

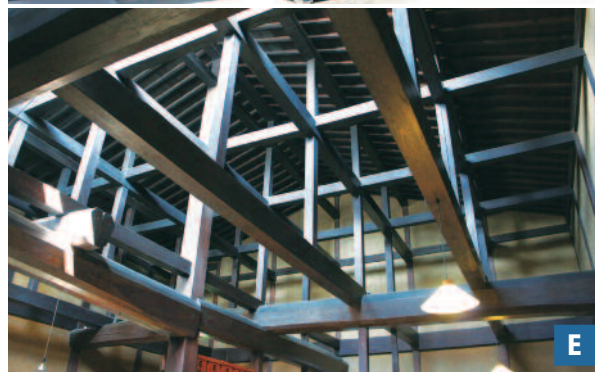
10:30 移動（30分）

11:00 見学説明会

吉島家住宅（国指定重要文化財）

日下部民藝館（国指定重要文化財）

12:30 解散



写真A:飛騨高山まちの博物館

写真B:日下部民藝館

写真C:「あ蔵」

写真D:吉島家住宅

写真E:吉島家住宅

《問合せ・参加申込み送付先》

伝統木構造の会 東海事務局

東海林建築設計事務所〒487-0021愛知県春日井市東神明町486-2 どんぐり館3階

電話：0568-51-6616 FAX：0568-51-6629 Email：info@tokairin.jp

（注）総会を欠席される正会員の方は、別紙「総会案内」にある委任状を東京本部へご送付ください。

### 総会および高山セミナー参加申込み書

氏名：	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 準会員 <input type="checkbox"/> 友の会 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生		
会社名：	職種： <input type="checkbox"/> 棟梁 <input type="checkbox"/> 大工 <input type="checkbox"/> 意匠設計 <input type="checkbox"/> 構造設計 <input type="checkbox"/> 工務店 <input type="checkbox"/> 林業 <input type="checkbox"/> 瓦 <input type="checkbox"/> 左官 <input type="checkbox"/> その他		
〒			
住所			
メールアドレス	電話	FAX	
同伴者氏名	（ <input type="checkbox"/> 所員、従業員/ <input type="checkbox"/> 家族）		本人+同伴者の合計： 名
総会 <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	セミナー <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	懇親会 <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	
[費用] <input type="radio"/> 総会：無料			
<input type="radio"/> セミナー：会員（5,000円）、非会員（10,000円）、学生（3,000円）、同伴者（3,000円）			
<input type="radio"/> 懇親会：一律5,000円			
8月27日（土）昼食弁当 <input type="checkbox"/> 要（ 個） <input type="checkbox"/> 不要（昼食代700円のみ現地で徴収。振込からはずしてください）			
振込費用合計金額（同伴者を含む）：			
[振込先]			
郵貯銀行（郵便振替）／口座名：伝統木構造の会 東海事務局 口座番号：00830-8-112391			
郵貯銀行（他銀行から振込む場合）／店名：089 種目：当座 口座番号：0112391 口座名：上に同じ			

# 高山セミナー 高山における町屋住宅の耐震診断方法を学ぶ〈実践編〉

特定非営利活動法人伝統木構造の会

平成23年8月27日、28日

会場：飛騨高山まちの博物館

「納屋より宮殿が好きだと言う人達を軽蔑するつもりはない。恐らく全てのもののうち最高のものは日本の高山にある吉島邸の様なものである。これは両方を兼ね備えている」。

アメリカの建築家チャールズ・W・ムーアは絶賛した。高山は「天領」であった歴史と深雪との戦いにおける生活、そして豊富な木材を駆使した飛騨の匠の職人技から民家は成り立っている。吉島家も初代がこの土地に根をおろし、明治の二度の出火から西田伊三郎、内山新造、坂下甚吉の名匠が腕を振るい現在は国の重要文化財に指定されている。

耐震化率を上げて行こうとする国は各地の重文の耐震改修を私達の考えるものとはかけ離れた方法で施されているのが現状です。

伝統木構造の会は今年、金沢から始まり今回の高山、そして、11月には鎌倉での開催を決定しております。それは金沢工業大学の後藤正美先生を中心に完成させた「金沢市伝統構法木造建築物耐震性能向上マニュアル」(町家編)は、各地に広がる町家等の保全、活用しようとする気運に拍車をかけると同時に私達はそれを広めなければとの思いが今回のセミナーに繋がりました。

今回のセミナーでは専門家のシンポジウムをはじめとして、吉島家住宅当主で建築家の吉島忠男氏、当地の棟梁の八野明氏にも参加をお願いしております。飛騨の匠から学ぶ技がたくさんみつかる今回のセミナーに是非皆様のご参加をお待ちしております。

†

## 講演要旨

講師 増田一眞 (本会会長)

平成23年8月28日(日) 09:30~10:30

### 講演主題

①日本の歴史、とりわけ近現代史を学ぼう ②伝木運動と事業化の課題 ③エネルギー問題

### 要旨

① 明治維新は稀にみる大きな日本社会の変革期であった。日本中が開国派と攘夷派に二分して論争したが、問題の最も本質は日本の近代化の是非にあった。驚くべきは、当時の我が国には福沢諭吉のように西洋文明の価値を深く理解し、時代を見通す英明な人物が少なからずいたばかりではなく、外国人を瞠目させる程の咀嚼力を持つ文化水準にあったことである。結果、様々な問題があるにせよ、日本は独立を守り近代化を達成した。

一般的に人間の考察対象として重要なものに歴史と自然があるが、幕末・維新を含む日本近現代史は、現代日本人にとって些かもゆるがせに出来ない最も重要な認識課題であろう。いうまでもなく歴史や自然に対する無理解や否定の上には文化は築けない。

しかし、黒船来航から太平洋戦争終結までの大凡百年の間に五つの戦争を経て、我が国の在り様には大きな変化がもたらされた。

今一度、日本の近現代史を代表的な文献の要約を助けに振り返ることで、未来への展望と確信を抱き、諸賢のご考察の一助としたい。

② 日乾で15%の含水率とした間伐材による厚板パネルを高橋信吉氏が考案され、実用化に漕ぎ着けた。これは、山林者と大工たちの双方に極めて大きなメリットがあり、本会で事業として取り組む価値がある。

もうひとつの本会の事業課題として架構学通信講座がある。

③ 時間があれば、原発問題への正しい理解と自然エネルギーについてお話ししたい。